

第2回下丸子駅周辺地区のまちの将来を考える会

日 時：令和3年12月1日（水）9：30～11：50

場 所：まち歩き（創造製作所 くりらぼ多摩川

～ 大田区民プラザ）

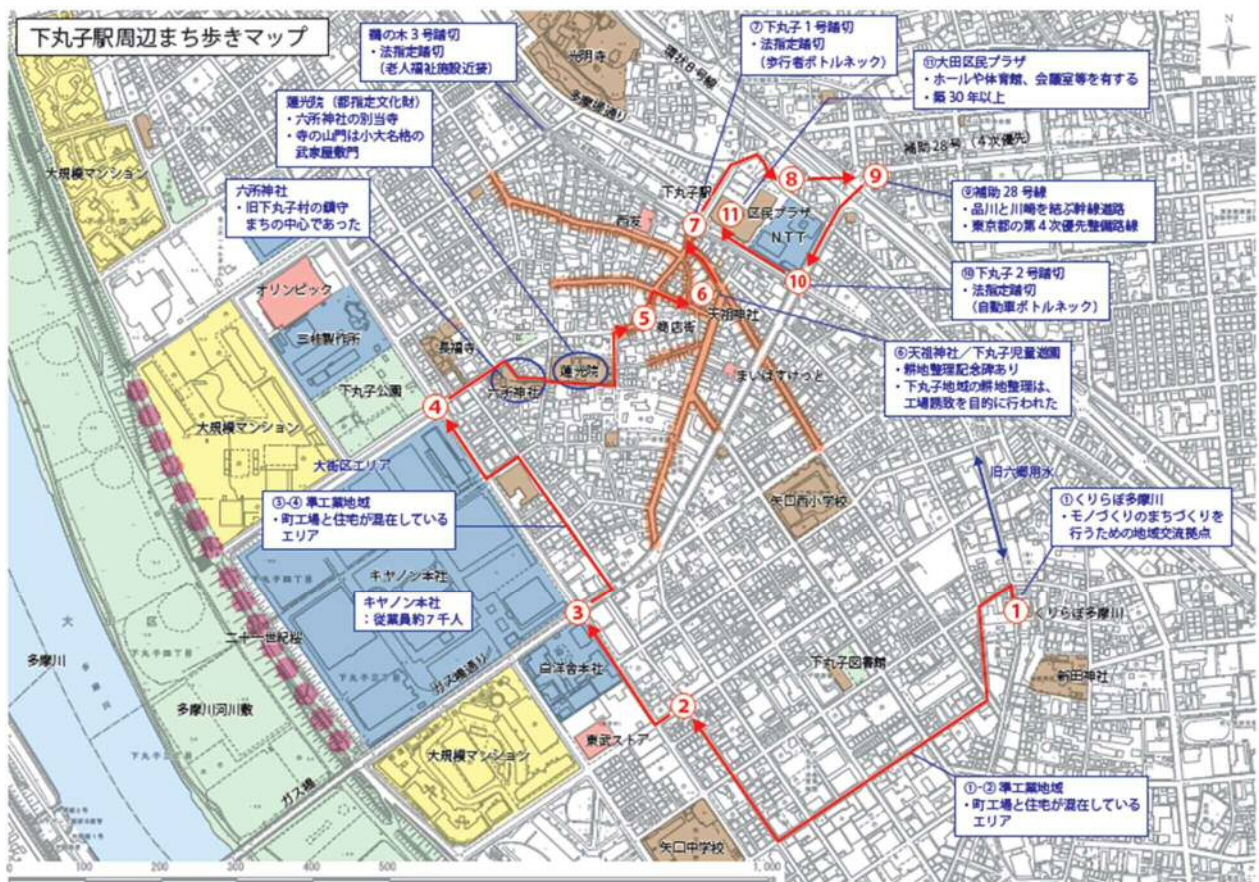
ワークショップ：（大田区民プラザ第1・第2会議室）

参加者：別紙 参加団体名簿を参照

■議事概要

（1）まち歩き

・創造製作所 くりらぼ多摩川から大田区民プラザまで、以下のルートでまち歩きを行い、まちの現状を確認した。



まち歩きの様子の写真

(2) ワークショップ

・「まち歩きで気付いたこと、日頃思っていることを共有しよう！」をテーマに、3つのグループに分かれて意見交換を行った。各グループの意見は以下の表のとおり

< Aグループ >

暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 路地の雰囲気を活かしていくべき 住んでいる人が快適に感じる事が大切 ガス橋通りのケヤキ並木を活用 歩きやすいまちづくりが必要 昼間の人の数（歩行者）が少なく感じる 等
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりのスペシャリストがいる ワークショップやアートのお店が増えている 駅の北側と南側を合わせてまちづくりを考えたい 公共施設等の活用 大規模エリアと戸建エリアの分断 人がたまる、くつろげる場所がない 駅前広場に公園がある明るいまちづくりが必要 等
交通	<ul style="list-style-type: none"> 生活道路には車が入ってこない交通処理 踏切や道路の安全性向上（保育園のお散歩） 駅とバス停の連続性 等
その他 (地域資源)	<ul style="list-style-type: none"> 神社やお寺の歴史（武家屋敷門） 21世紀桜 新しい面と古い面が一緒になっている 750年の歴史のあるまち 等

< Bグループ >

暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが遊べる場所など、地域住民と交流できる場所が少ない 町工場との共存（大田区を支える産業・工業への理解） 坂がなく平面で暮らしやすい 踏切とアイドリングしている車の音が… 等
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> 駅前に人が集められるような空間がない 駅北側の駐車場を上手く活用できないか 多くの町工場の存在 町工場から住宅地への土地利用の変化 耕地整理区域はこのままが良い 等
交通	<ul style="list-style-type: none"> 安心して歩ける環境にもう少し改善できたら 踏切部における朝夕の人の混雑、車の渋滞の解消が必要 下丸子地域の道路が狭い 駅前広場がなくバスの乗り継ぎが不便 等
その他 (地域資源)	<ul style="list-style-type: none"> 品川と川崎をつなぐ要所 昔からの神社仏閣がある ほたるの人工繁殖 歴史を大切にする（昔からの神話がある） 等

< Cグループ >

<p>暮らし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買物は近場で済ませることが多い ・ ランチに行くおいしいお店がある ・ ベットタウンとは異なる生活感のあるまち ・ 新しい人が流入しているポテンシャルのあるまち 等
<p>土地利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちの構造は活かしていきたい ・ 町工場のある風景を残していきたい ・ 駅近くに駐車場が多い 等
<p>交通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前にロータリーがない ・ バスの運行本数が少なく日常使いは難しい ・ まちなかへ通過交通を入れない ・ 踏切対策（補助28号の整備や踏切の解消によりガス橋通りの交通量が増えることも考慮する必要がある） ・ 駅の南側は道路が狭く、交通事故が発生する危険も ・ 朝・夕は駅近くに人が多い 等
<p>その他 (地域資源)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神社やお寺等の歴史資源（武家屋敷門） ・ くりらぼ多摩川など地域コミュニティの場がある（駅の近くにそのような場があるとよい） ・ 町工場、電柱など豊富なノスタルジックな風景 ・ ドラマなどの撮影が多い ・ 河川敷や公園をもっと活かしたい ・ 公共施設の建替えなど検討が必要 等



ワークショップの様子の写真

(3) その他（今後の進め方について）

○区 より

- ・次回(第3回)は令和4年2月14日(月)18:00～ の開催に向けて日程調整を進めているところ。決定次第改めてご連絡させて頂く。
- ・第3回は第2回までの内容を踏まえ、鉄道立体化と一体的なまちづくりの事例に関するレクリエーションと、地区のビジョンについて考えるワークショップを行う予定。

○OCTC 野原センター長より

- ・まち歩きを通じて現場を見れたことで、かなり具体的な意見をそれぞれの立場から聞くことができ、非常に良い内容であったと思う。
- ・まち歩きを通じて良い点、悪い点が見えてきたと思うが、そのような場所がどのような経緯でできてきたのかの背景を考えることが大事である。
- ・また、どこを守り、どこに手を付けていくのかメリハリをつけて取り組んでいくことが大事であり、それを考えるヒントは各グループの意見の中に出てきていると思う。
- ・次回は下丸子地区の20年後の将来像について、各グループから出てきた意見を踏まえ、皆さんと一緒に考えていきたい。次回も皆さんから様々な意見を頂きたいと思う。

以上